

SNS上で子どもが狙われる 児童ポルノ事犯などの深刻な性被害が増加中

○児童ポルノ事犯の被害児童は**中高生で83.7%**^{※1}

○被害内容は**児童が自撮りした画像に伴う被害が39.1%**^{※2} ※1 令和4年度 愛知県警察 児童ポルノ事犯の被害状況
※2 令和4年度 愛知県警察 児童ポルノ事犯の被害状況

被害児童の年代(令和4年)



被害児童の被害内容(令和4年)



藤田医科大学医療科学部の学生が SNS児童性被害防止アプリを発案。

増加しつづけるSNSでの自撮り画像被害。

10代の4人にひとりが性的な自撮りを他人に送った経験アリというデータもあります。

被害や事件は特別なケースではなく、SNSを使う何気ない日常に潜んでいます。

何とかして被害を未然に防ぐことはできないか…？

大学生は子どもとおとなの真ん中世代。

子どものキモチ、おとなの視点の両側面から

様々なアイデアを出し検証を重ねて

画像検知システムを利用したスマホアプリの実装化をめざしてきました。

そしてこの春、子どもと保護者を守る

自撮り被害防止アプリ「コドマモ」としていよいよ誕生します。

SNSを楽しく使うため、そして
自分のココロ、カラダ、ミライを守るために。

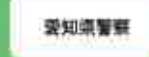
このアプリの話をきっかけに

自撮り被害について親子でお話ししていただければ嬉しいです。



子どもを守りたい、という強い思いから 産官学の連携で始まったプロジェクトです

児童による性的な自撮り被害が増える中、愛知県警察が2021年秋に被害防止策について
起案者を育成するプロジェクト団体「Tongali」に相談。
社会課題解決を講義でも扱っていた藤田医科大学が名乗りをあげ、計画が始まりました。



大学生が子どもの 自撮り被害撲滅の ために立ち上がった!

アルバムに残せない自撮りは
送らないこと。

子どもは悪くない。大人でも
SNSで出会う人がいい人か
悪い人か見分けることはできない

心掛けたのは
子どもと保護者の
気持ちに寄り添う開発

子どもを叱ると、相談できなくなっちゃう…

子どものプライバシーと
心身を守るシステムにしよう!

わいせつ画像の
検知機能の精度を上げないと!

子どもを被害者にも
加害者にもさせない!

“送る、を止めれば”
“未来、は守れる”

コドマモ

子どものわいせつな自撮りをAIで検知

1. プライバシー保護
2. オリジナルの画像認識AI
3. どんなカメラアプリにも対応

コドマモの
POINT!



ダウンロード無料



スマートブックス株式会社

コドマモの仕組み

わいせつな自撮りが
撮影されたら…

わいせつな自撮りを
AIが自動感知

子どもに
削除を推奨

親のスマホにも
すぐに通知

コドマモに
期待される効果

犯罪を減らす
抑止力に

親子の対話を
促進する仕組み

子どもが加害者に
なることを予防

プロジェクト全般について

藤田医科大学 産官学連携推進センター

TEL 0562-93-9000

Email: sanchen@fujita-hu.ac.jp

アプリ開発について

スマートブックス株式会社

TEL 050-3934-7503

Email: contact@kodomomo.com

犯罪対策等について

愛知県警 警察本部 少年課

TEL 052-861-1611(代表)